

秩父杉

この巨大な木は、高さ 55m、最大幹周 9m、樹齢 800 年以上とされています。知勇兼備の武将として有名な畠山重忠(1164-1205)が将軍源頼朝(1147-1199)の命により、国の平和と靖寧を願って送ったと伝えられています。畠山重忠は、高千穂に二本の杉を植えました。そのうち一本が残っています。もう一本は、1992 年の台風によって倒れてしまい、その巨木を売ったお金は古い建物の代わりに新しい神楽殿の建築に使われました。「秩父杉」の名前は、畠山重忠の故郷、秩父に由来すると伝えられています。

神楽殿

新しい神楽殿は、1996 年に開館されました。毎晩夜 8 時より年間を通して神楽の公演を行っています。